

9. 社会貢献

▶社会貢献概要

ジェンダー研究の成果を積極的に社会に還元

ジェンダー研究所所属研究者は、行政機関等が開催する一般向け男女共同参画関連講座の講師を担当したり、メディアの専門家取材に応じるなど、男女共同参画分野での社会貢献や、研究成果の社会還元に積極的に取り組んでいる。また、高等学校生徒のジェンダーをテーマとする校外学習活動に協力するなど、若年世代のジェンダー課題理解の推進に努めている。

■男女共同参画センター等での講演

石井クンツ昌子（所長）

- ・福井県みらいきりプログラム講義「ワークライフバランス」（2018年7月18日）
- ・葛飾区区民大学講座「オトナのオンナの女性学」講師（2018年10月13日）
- ・名古屋大学ジェンダーリサーチライブラリ講演「お茶の水女子大学ジェンダー研究所：歴史・教育・研究・ネットワーク」（2019年1月11日）
- ・筑西市男女共同参画セミナー「ワーク・ライフ・バランスってなに？～その現状と課題～」（2019年1月18日）
- ・川崎市すくらむ21「子育て期の夫婦で考えるポジティブ ワーク・ライフ・バランス」（2019年2月3日）
- ・笹川平和財団「Men's Roles: A Comparison among Five East Asian Cities」（2019年2月20日）
- 「揺らぐ男性性」研究会「日本およびアジア地域における男性意識調査の分析について」（2019年3月12日）

申琪榮（准教授）

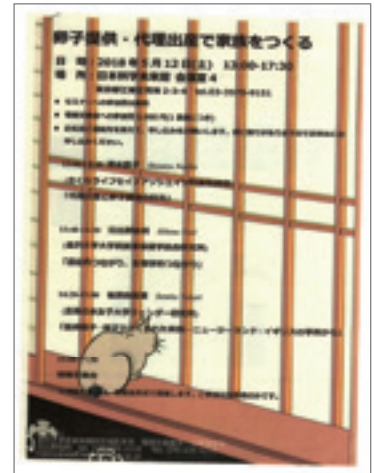
- ・埼玉大学第10回男女共同参画室講演会「女性教員を増やすことの意義と方法ー男女均等は世界の潮流ー」（2018年11月8日）
- ・福岡県国際女性シンポジウム『Cast Your Shell 殻を破れ』コメンテーター（2018年9月8日）
- ・福岡市『女性のための政治スクール』講演「政治を変えるクォータ制：世界の動向・日本の動向」、福岡・女性議員を増やす会（2018年7月17日）
- ・福岡市「地域で男女共同参画！～広げようネットワーク」主催講演「女性議員を増やして政治を変えよう！」（2018年10月20日）
- ・「トランプ時代の女性と政治」パネリスト、公益財団法人笹川平和財団（2018年7月17日）
- ・市民政治フォーラム(홍익표, 이정미, 진선미의원 공동대표)「MeToo から女性政治まで：社会の周辺から政治的主体へ」（2018年8月24日）、ソウル市 韓国国会委員会館
- ・公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム KFAW アジア研究者ネットワークセミナー「なぜ増えた、世界の女性議員ー女性議員が増えたと何が変わる？ー」（2019年2月16日）、北九州市。
- ・埼玉県男女共同参画推進センター第17回 With You さいたまフェスティバル講演会「合言葉は、パ・リ・テ!!～意思決定の場を男女同数に～」（2019年2月3日）

板井広明（特任講師）

- ・文化服装学院ファッション流通専門課程リテールプランニングコース講師（全3回のうち2回。2018年6月4日「次世代FBにおける美意識（真善美）の重要性」、6月25日「ショップ運営における倫理・哲学的意識（エシカル、サステナブル、エコ、フェアトレードなど）の重要性」）

仙波由加里（特任リサーチフェロー）

- ・日本科学未来館公開セミナー『卵子提供・代理出産で家族をつくる』、講演タイトル「提供精子・提供卵子でつくられた家族—ニュージーランド・イギリスの事例から」講師。於：日本科学未来館。参加者約40名。（2018年5月12日）



日本科学未来館公開セミナーポスター

■地方公共団体男女共同参画事業への参与

石井クンツ昌子（所長）

- ・福井県男女共同参画審議会会長

■NPO 事業への参与

申琪榮（准教授）

- ・女性政治リーダーを養成する一般社団法人「パリテ・アカデミー」(Academy for Gender Parity)を立ち上げ共同代表を務める。

■校外学習活動等への協力

- ・広島県立尾道北高校の高校生5名のIGS訪問に対応。担当：仙波由加里（特任リサーチフェロー）。（2018年7月25日）
- ・栃木県立宇都宮高校の高校生3名のIGS訪問に対応。担当：板井広明（特任講師）、仙波由加里（特任リサーチフェロー）（2018年8月21日）

■外部機関倫理審査委員会への参与

仙波由加里（特任リサーチフェロー）

- ・公益財団法人 神経研究所 倫理審査委員会 審査委員
- ・みなとみらい夢クリニック 倫理審査委員会 審査委員

■新聞等記事へのコメント提供ほか

石井クンツ昌子（所長）

- ・博報堂生活総研 調査結果に対するヒアリング（2018 年 4 月 20 日）
- ・新聞・雑誌等の取材、新聞コラム執筆など多数

申琪榮（准教授）

- ・『東京新聞』2018 年 5 月 17 日「女性政治塾 続々」
- ・『毎日新聞』2018 年 5 月 17 日「政治分野における男女共同参画推進法成立」
- ・『朝日新聞』2018 年 6 月 26 日「(D e a r G i r l s) 女性政治塾、学生も刺激 格差や多様性、考える機会に」
- ・『日本経済新聞』2018 年 7 月 29 日「めざせ女性政治家！米「選挙のプロ」日本でセミナー 男女共同参画推進法が契機」
- ・『朝日新聞』2018 年 9 月 9 日「ジェンダーの平等「経済発展に必要」福岡で国際女性シンポ」
- ・『東京新聞』2018 年 10 月 12 日「異様さ目立つ早大セクハラ調査報告」
- ・『中日新聞』2018 年 10 月 28 日「ジュニアコーナー「女性と政治」特集」
- ・『西日本新聞』2018 年 11 月 30 日「福岡市で開かれた「女性の政治参画を考える講演会」について」
- ・『都市問題』2019 年 1 月号「女性政治リーダーをどう育てるか？」
- ・『共同通信』（茨城新聞、伊勢新聞、山口新聞、高知新聞、埼玉新聞）2019 年 1 月 26～28 日「地方議会の女性議員ゼロ解消に向けて」
- ・『東京新聞』2019 年 1 月 28 日「(ニュースがわかる A to Z) 別姓婚求め 相次ぎ訴訟」
- ・『パリテウェーブ from 福岡』2019 年 2 月号
- ・『AFER(Alliance of Feminist Representatives)』2019 年 2 月 28 日
- ・『with you さいたま』2019 年 3 月号「2/3 に開催された With You さいたまフェスティバル講演会の内容紹介」
- ・『北海道新聞』2019 年 3 月 22 日「最後の「冬」問題監督作に物議」

ほか多数

大野聖良（特任リサーチフェロー）

- ・アジア女性資料センター『女たちの 21 世紀 no.95: 夫婦別姓はなぜ阻まれ続けるのか』2018 年 9 月「旧姓併記は『例外的措置』？—パスポートから夫婦別姓を考える」（夫婦別姓・通称使用をめぐる問題について）